

南アジア4カ国 マーケットレポート

【株価指数の推移】※…現地通貨ベース

		終値	6月9日比
インド	S&P・BSE500種指数	13,207.78	-1.10%
スリランカ	スリランカ コロンボ 全株指数	6,715.33	0.70%
パキスタン	カラチ 全株指数	32,247.64	-6.15%
バングラデシュ	ダッカ総合株価指数	5,599.08	2.25%

(出所：ブルームバーグ)

【為替(対円)の推移】

		終値	6月9日比
インド	インドルピー	1.7250	0.58%
スリランカ	スリランカルピー	0.7263	0.54%
パキスタン	パキスタンルピー	1.0620	0.85%
バングラデシュ	バングラデシュタカ	1.3768	0.78%

(出所：ブルームバーグ)

【各国の市況・トピックス】

【インド：初の米印首脳会談】

S&P・BSE500種指数はレンジ内での動きとなりました。新興国市場全般への資金流入が続く中、利益確定の売りに押される展開でした。6月26日、ホワイトハウスでトランプ米大統領とモディ首相の初の首脳会談が行なわれました。安全保障面での協力強化がメインの合意事項となり、インドIT業界が問題視している渡米ビザの発給条件の厳格化については議題とされなかったようです。自国第一主義とも取れる主張を繰り返している両国首脳が、さまざまな分野での連携強化の協議を開始したことは、世界経済にとって好材料と言えます。

【スリランカ：中央銀行の政策運営は困難な局面】

6月22日、スリランカ中央銀行は政策金利の現状維持(中銀預金金利7.25%、貸出金利8.75%)を決定しました。5月下旬から続いた記録的な豪雨がインフレに悪影響を及ぼすと懸念される中、中央銀行は景気回復のサポート役も担わなくてはならず、政策調整が非常に困難な局面です。一方、格付会社フィッチは金利水準の高さに警告を発しています。小売業や製造業など、操業資金を短期借入で賄っている企業にとって、現在の金利水準は収益の圧迫要因になる恐れがあるとしています。

【パキスタン：パナマ問題、再び浮上】

カラチ全株指数は、史上最高値を付けた5月下旬以降の下落基調が継続し、6月9日比▲6.15%となりました。株式配当への増税案が盛り込まれた予算案の発表をきっかけに反落し、5月末比では▲7.87%と調整局面が長引いています。6月15日、シャリフ首相は現職の首相として初めて、パナマ問題に関して合同捜査チームから取り調べを受けました。合同捜査チームは最高裁の命を受けて結成された特任機関です。現職首相の進退が注目されるほか、来年に控えた選挙に向けても予断を許さない情勢になりつつあります。

【バングラデシュ：増税懸念の後退が相場を後押し】

ダッカ総合株価指数は、6月9日比+2.25%と堅調に推移しました。増税策の延期見通しがサポート要因になったようです。6月1日に発表された2017-2018年度予算案では、7月1日より新たな付加価値税(VAT)法が施行される予定でした。2021年までに中所得国入りを目指す同国は、インフラ開発のための資金をVATなどの税収増により賄う予定でしたが、政府は低所得者の負担増などに配慮し、新法の施行を1~2年延期させる可能性を示唆しています。

当資料のお取り扱いにおける注意

当資料はアストマックス投信投資顧問株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当資料は、信頼できると判断した情報に基づいて作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料中に記載している内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更することがあります。当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆しない保証するものではありません。

信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者の皆様に帰属します。投資信託の取得のお申込みに当たっては、販売会社から目論見書等をお渡しいたしますので、必ず内容をご確認のうえ、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。

投資信託は、預貯金や保険契約にはあたりませんので、預金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。

南アジア4カ国 マーケットレポート

【株価指数の値動き】〔期間：2016年1月1日～2017年6月23日、現地通貨ベース〕

(出所：ブルームバーグ)



—インド—



—スリランカ—



—パキスタン—

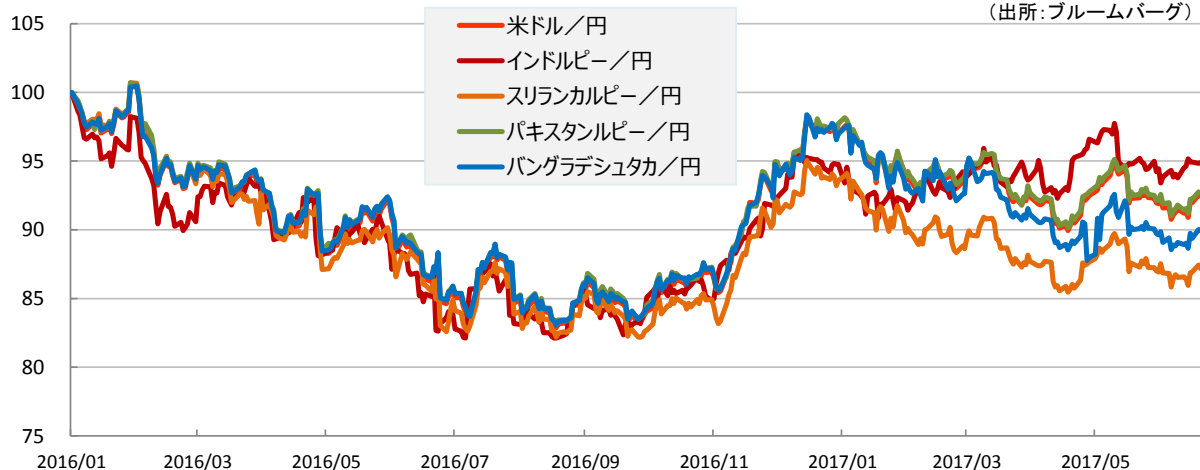


—バングラデシュ—

【為替の値動き】

〔期間：2016年1月1日(基準日)～2017年6月23日、基準日を100として指数化〕

(出所：ブルームバーグ)



当資料のお取り扱いにおける注意

当資料はアストマックス投信投資顧問株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当資料は、信頼できると判断した情報に基づいて作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料中に記載している内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更することがあります。当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆しないし保証するものではありません。

信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者の皆様に帰属します。投資信託の取得のお申込みに当たっては、販売会社から目論見書等をお渡しいたしますので、必ず内容をご確認のうえ、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。

投資信託は、預貯金や保険契約にはあたりませんので、預金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。

南アジア4カ国 マーケットレポート

投資信託の主なリスク

投資信託は、主に国内外の株式や債券、その他の有価証券等を投資対象としますので、組入有価証券等の価格の下落や、組入有価証券等の発行会社の倒産や財務状況の悪化、為替の変動等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金とは異なります。運用の結果としてファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者の皆様に帰属します。

投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、投資市場、投資対象国などが異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資にあたっては目論見書や契約締結前交付書面等をよくご覧ください。

お客様にご負担いただく主な費用

ご投資いただくお客様には以下の費用をご負担いただきます。

- 申込時に直接ご負担いただく費用……申込手数料 上限3.78% (税抜き3.50%)
- 換金時に直接ご負担いただく費用……信託財産留保額 上限0.5%
- 投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用……信託報酬 上限2.0412% (税抜き1.89%)
 - ※一部のファンドについては、運用成果等に応じて実績報酬をご負担頂く場合があります。
 - ※ファンド・オブ・ファンズの場合は、ファンドの投資対象とする投資信託証券の信託報酬等が別途かかります。
- その他費用……上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。
当該費用は運用状況等により変動しますので、事前に料率、上限額等を示すことができません。

上記に記載しているリスクや費用項目は一般的な投資信託を想定しています。

費用の料率につきましては当社が運用する公募の投資信託のうち最高の料率を記載しています。手数料の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。投資信託に係るリスクや費用は、各投資信託により異なりますので、ご投資に当たっては、目論見書や契約締結前交付書面をよくご覧ください。



アストマックス投信投資顧問株式会社

〒141-0022 東京都品川区東五反田2-10-2 東五反田スクエア5階

商号等： アストマックス投信投資顧問株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第387号

商品投資顧問業者 農経(1)第21号

加入協会： 一般社団法人投資信託協会 / 一般社団法人日本投資顧問業協会

一般社団法人 第二種金融商品取引業協会 / 日本商品投資顧問業協会

当資料のお取り扱いにおける注意

当資料はアストマックス投信投資顧問株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当資料は、信頼できると判断した情報に基づいて作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料中に記載している内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更することがあります。当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆しない保証するものではありません。

信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者の皆様に帰属します。投資信託の取得のお申込みに当たっては、販売会社から目論見書等をお渡しいたしますので、必ず内容をご確認のうえ、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。

投資信託は、預貯金や保険契約にはあたりませんので、預金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。